



平成 22 年度 文部科学省科学技術振興調整費
「女性研究者支援モデル育成事業」



しなやか女性医学研究者支援みやこモデル

京都府立医科大学男女共同参画推進センター

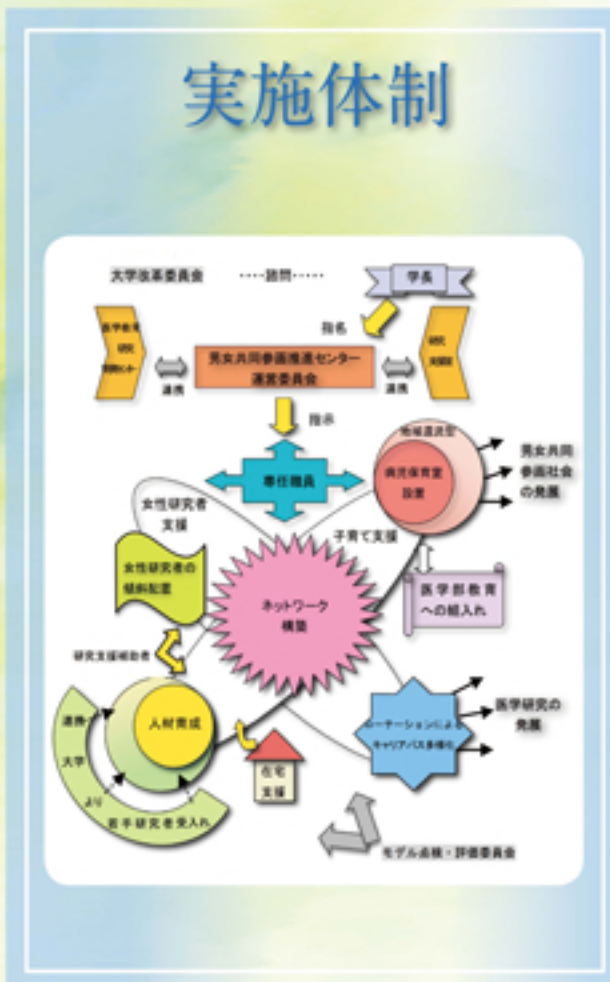
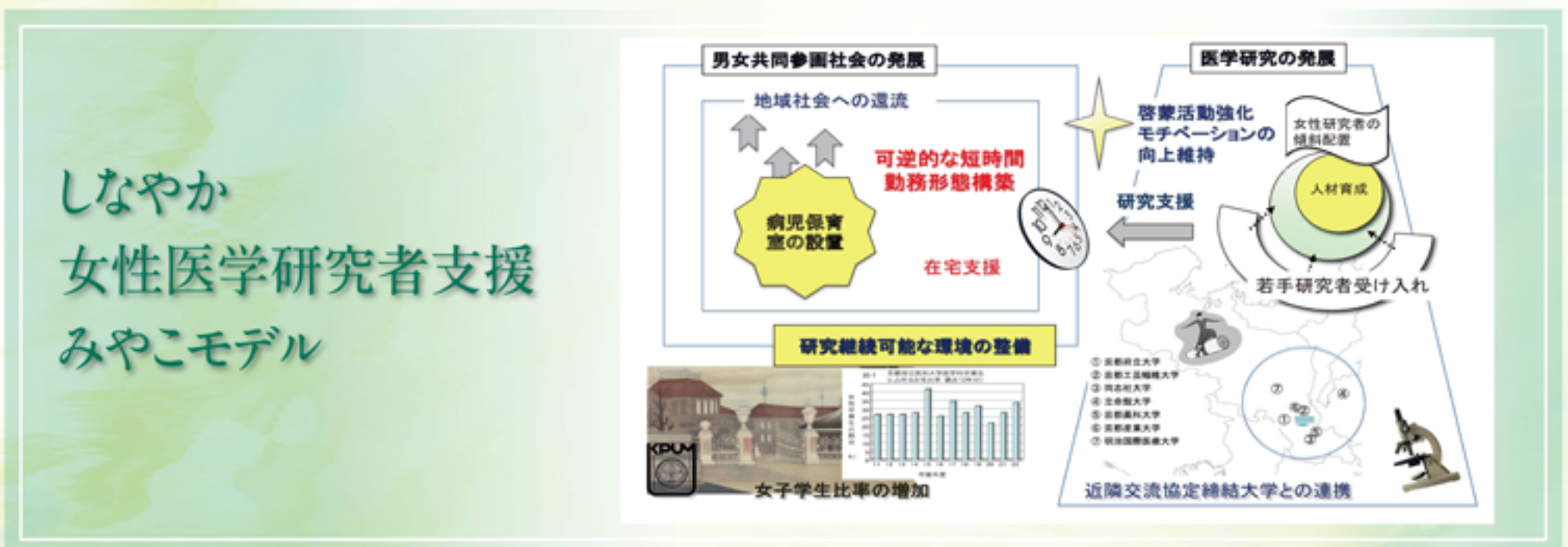
本計画の究極の目標は、男女共同参画社会の発展と医学研究の発展である。

京都府立医科大学医学科学生的女性比率はこの12年連続して25%を超えるが(下図)、医学科女性教員は全教員の約9%水準に留まる。しかし医学科大学院生的女性比率が25%を維持し総合大学の医学部に比し高率であることから、女性医学研究者育成機関としての潜在的可能性は高い。

そこで女性医学研究者支援の全学体制を構築するために男女共同参画推進センターを設置し、専任職員1名と3名の女性教員の兼任により全学的な女性研究者ネットワークの構築とロールモデルによる支援の連鎖、啓発活動強化を図る。

具体的な取組みとして、

- 1 研究と医療業務のローテーション環境(可逆的な短時間勤務形態)を構築し、柔軟な勤務体制による臨床医学研究業務を整備する。同時にテニユア・トラックの非常勤女性医学研究者採用枠を企画する。
- 2 病児保育を軸とする子育て支援として、医系大学としての機動性を生かした理想的な病児保育室の設置・運営をめざす。将来的には地域を中心に広く病児保育室を開放し地域還流型モデルとしての特性化を図る。
- 3 産休・育休および子育て中の支援として、研究支援補助者の配置および在宅研究支援を行う。地域連携モデルとして近隣連携大学からの女性研究者受入れ体制の整備とともに、連携大学の理・工・農・業の人材の育成にもつなげる。



【問い合わせ先】 京都府立医科大学男女共同参画推進センター